



切り出した竹を協力して加工



市の無形民俗文化財に指定されている神楽(剣の舞)



湯のしずくを浴びる氏子たち

耀窟神社の湯立て祭り  
湯のしずくを浴び、  
無病息災・家内安全を祈願

桜吹雪舞つ4月9日、西大須賀地区の耀窟神社で、約700年前からこの地区に伝わるといわれる「湯立て祭り」の神事が行われました。熱湯の中に入れた熊笹を氏子たちの前で大きく振り、湯のしずくを浴びると1年間健康で過ごせるという利益が。また、神事が終わると同地区郷土芸能保存会の皆さんによる神楽が併せて奉納されました。

早速、試乗

親子竹の子掘りと竹細工づくり教室  
昔ながらの竹細工を体験

竹を使った日用品やおもちゃを自分たちで作ろうと「親子竹の子掘りと竹細工づくり教室」が4月15日、八生公民館で行われ、17組の親子が参加しました。

早朝から竹の子掘りを体験した参加者は、八生公民館脇の竹林から切り出した竹を使ってさまざまな竹細工を体験。お父さんやお母さん、地域の皆さんの協力で自分だけの水鉄砲やポックリなどのおもちゃを完成した子どもたちは、早速、出来栄を試しながら楽しんでいました。



オリジナル曲を熱唱する福島康晴さん

合併記念公演  
「成田フィルハーモニー管弦楽団演奏会」  
美しい調べとともに

4月23日、成田国際文化会館で、成田フィルハーモニー管弦楽団の演奏会が開催されました。指揮者を務める、福島康晴氏が成田フィルのために書き下ろしたオリジナル曲を始め、「カルメン」や「田園」など情感豊かな演奏に、会場を埋めた約500人の聴衆から盛大な拍手が送られました。



これまでの倍となる61人で埋まった議場  
(手前が議員席)

## 合併後最初の市議会 61人の市議会議員が 初顔合わせ

4月12日、合併後最初の成田市議会臨時会が開催され、議場には新たに成田市議会議員となった旧下総・大栄町議員を加えた61人全員が出席し、9議案の審議を行いました。主なものは「市章」「成田市民の日」の制定や、市政の円滑な運営を図るため旧2町の町長を成田市特別顧問とする条例などですべて原案通り可決されました。

車いすでも利用しやすく



国際文化会館会議棟にエレベーター  
より利用しやすい  
施設を目指し

1月末から改良工事を進めていた成田国際文化会館会議棟のエレベーターが4月21日から利用できるようになりました。これは、高齢者や障がいのある人が、文化会館行事などに参加する場合の利便を考慮して設置したもので、積載重量750kg、最大定員11人、車いすの人も利用できるものとなっています。

## 合併記念行事「成田太鼓祭」 勇壮な響きで見物客を魅了!

その勇壮な響きで「関東一」ともいわれる成田太鼓祭が、4月8日・9日に開催されました。18回目となることは過去最多の44の太鼓チームが県内外から集合。新勝寺本堂前では出演者300人が一斉に太鼓を打つ千願華太鼓が、表参道では特設舞台での演奏や太鼓パレードが行われ、力強く打ち鳴らされる太鼓の響きやスピード感あふれるパフォーマンスで見物客を魅了しました。

かがり火が揺れる中、和太鼓の真髄を聴かせる



新勝寺本堂前の千願華太鼓

